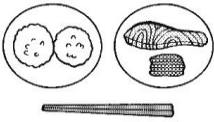
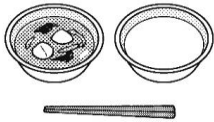
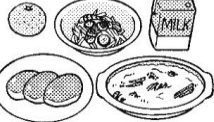


給食室の工事が終わり、給食が始まります。みなさんがいつも食べている給食は、いつから始まったのか、知って

おにぎりから始まった学校給食

明治22年 (1889年)	昭和22年 (1947年)	昭和58年 (1983年)	現在 (2023年)
 <ul style="list-style-type: none"> おにぎり 塩さけ 菜の漬物 	 <ul style="list-style-type: none"> ミルク(脱脂粉乳) トマトシチュー 	 <ul style="list-style-type: none"> ツイストパン 牛乳 卵とほうれんそうのグラタン えびのサラダ くだもの(みかん) 	 <ul style="list-style-type: none"> ごはん 牛乳 豆腐のハンバーグ あえ物 みそ汁 みかん

学校給食は、明治22年(1889年)に山形県鶴岡町(現在の鶴岡市)の私立忠愛小学校で貧困児童を対象に、無償でおにぎりなどを提供したことが始まりです。

1月24日～30日は全国学校給食週間です

学校給食は、栄養バランスがよく、子どもたちの心身の発達や健康を支え、食に関する指導をすすめるための教材になっています。また、偏った食生活、肥満傾向など、子どもたちの食生活を取り巻く環境が大きく変化している中で、学校給食は、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために重要な役割を果たしています。

学校給食週間では、子どもたちや先生だけではなく、地域の人にも、学校給食の意義や役割について理解を深め関心を高めるために、全国でさまざまな行事が行われています。

この機会に家族で給食について考えてみませんか



和食の日

今月の和食の日は、27日(金)です。この日は東京都で採れた食材を多く使用した献立になっています。

その土地で生産された食材をその土地で消費する「地産地消」には、輸送費や二酸化炭素排出量が少なく済むこと、新鮮なうちに食べられることなど、良いことがたくさんあります。

身近なところに畑がないためイメージしづらいと思いますが、右の図のように東京都でも多くの野菜や果実が生産されています。給食では、今後も積極的に東京都産の食材を使用していきます。

